

ふりがな かみたけ ようしろう

氏名 神武 庸四郎

1. 学歴

1971年 3月 横浜国立大学経済学部卒業
1971年 4月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学
1976年 3月 一橋大学大学院経済学研究科博士課程修了, 退学

2. 職歴・研究歴

1976年 4月 一橋大学経済学部専任講師
1980年 7月 一橋大学経済学部助教授
1986年 3月-1987年 1月
Research Scholarとしてロンドン大学経済学部 (London School of Economics) のBusiness History Unitに留学
1988年 10月 一橋大学経済学部教授
1993年 一橋大学博士 (経済学)
1998年 4月 一橋大学経済学研究科教授

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

(a) 学部学生向け

経済史 A, 経済史入門, 文明史

(b) 大学院

比較経済史, 文明史

B. ゼミナール

学部前期, 学部後期, 大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

最近 5 年間以内に担当した講義科目とその主題はつぎのとおりです。

経済史入門・・・経済学の1分科としての経済史学についてとくに理論的な諸問題および学説史について講義するとともに, 広義の経済学入門としての経済史学の意味を説明することに焦点を合わせました。

経済史 A・・・経済史学的な観点とともに科学史的な観点をも積極的に導入して産業革命の構造を理論的に解説しました。たとえば, 蒸気機関についてはその経済学的意義を説明するのみならず, その熱力学的な構造やさらには形式的・数学的構造の解説をも付け加えました。

比較経済史・・・経済史学の諸「理論」の批判的検討と構造分析的立場からの歴史研究方法の再構成さらには経済学を含む社会諸科学の普遍モデルの紹介などを試み, 理論システムとしての経済史学の意義を強調しました。

文明史・・・2005年度には「映画をつうじた文明史の理論構成」というテーマをかかげて、小津安二郎の作品（「おはよう」と「風の中のめん鳥」）、エイゼンシュテインの「戦艦ポチョムキン」などをてがかりに、映画を媒介にして表現される文化・文明の理論構造について講義しました。

ゼミナール・・・学部ゼミナールでは、経済理論史、経済哲学、社会科学の哲学、技術哲学、歴史哲学、歴史主義、構造主義、パラダイム論などをテーマにしているいろいろな科学方法論や哲学的立場について検討しました。そのばあいのテキストとしては、邦語ではとくに三木清や私自身の諸著作をとりあげました。外国語文献としては、P. Deane, K. Pribram, J. Schumpeter, D. Ihde, K. Popper, J. Piaget, Thomas Kuhn らの著書を輪読しました。

4. 主な研究テーマ

- (1) 経済史学（経済史の理論）
- (2) 思想史（とくに経済思想史）
- (3) 経済哲学・科学哲学
- (4) 科学史

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

[単著]

『イギリス金融史研究』お茶の水書房, 1979年。

『経済思想とナショナリズム』青木書店, 1990年。

『銀行と帝国 イギリス「銀行統合運動」史の研究』青木書店, 1992年。

『パリアの楔 世界史の構造理論』有斐閣, 1994年。

『経済学の構造 一つのメタエコノミック』未来社, 1996年。

『経済史入門』有斐閣, 2006年。

[共著]

『西洋経済史』有斐閣, 1989年。萩原伸次郎との共著。

[共編著]

『社会的異端者の系譜 イギリス史上の人々』三省堂, 1989年。浜林正夫との共編著。

(b) 論文 (査読つき論文には*)

* 「19世紀後半におけるマーチャント・バンカーの公債発行業務の特質」『金融経済』143号, 1973年。

* 「チェンバレン・キャンペインとロンドン『銀行協会』」『社会経済史学』第39巻4号, 1974年。

* 「イギリス預金銀行の支店管理組織と対外関係 (1891-1913年)」『金融経済』151号, 1975年。

* 「19世紀後半のイギリス資本主義と『自由貿易帝国主義』論」『歴史評論』1975年10月号。

「19世紀後半のロンドンにおける公債発行とイギリス株式銀行」『一橋論叢』第76巻5号, 1976年。

「第一次大戦前のイギリス海運企業金融の特質」『一橋論叢』第77巻6号, 1977年。

「19世紀後半におけるイギリス株式会社形成過程の特質」『一橋大学研究年報 経済学研究』21号, 1978年。

「1879年改正会社法の歴史的意義 イングランドにおける株式銀行の成立によせて」『一橋論叢』第82巻4号, 1979年。

- 「トーマス・ジョプリンにおける合本銀行の構図」『一橋論叢』第 85 巻 1 号, 1981 年。
- "Some Notes on the Life and Works of Sir Edward Holden", *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol.23 (No.2), 1983.
- 「英帝国内における『銀行統合運動』の経済史的意義」『一橋大学研究年報 経済学研究』25 号, 1984 年。
- * 「イギリス『金融資本』分析の課題」社会経済史学会編『社会経済史学の課題と展望』有斐閣, 1984 年, 所収。
- * 「J. F. ダーリングの『帝国通貨証券』構想とその帰結」山田秀雄編著『イギリス帝国経済の構造』新評論, 1986 年, 所収。
- "Darling, Goodenough and McKenna: Economic Thoughts of the City towards British Return to Gold in 1925", *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 27 (No. 2), December, 1986.
- * 「マーシャル『産業と商業』」『社会経済史学』第 50 巻 4 号, 1988 年。
- 「イギリスのファシスト オズワルド・モーズリの生涯」『社会的異端者の系譜 イギリス史上の人々』, 1989 年 [前掲], 所収。
- 「工業退化と産業金融 イギリス経済史論の批判的再構成」『一橋大学研究年報 経済学研究』30 号, 1989 年。
- "The Process of De-industrialisation in Modern Economic History: Lessons from British Historical Experience", *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 31 (No. 1), June, 1990.
- 「レジナルド・マッケナの経済思想」一橋大学古典資料センター, *Study Series*, 1991 年。
- 「いわゆる『姿態変換』の構造」『一橋論叢』第 113 巻 6 号, 1995 年。
- 「『姿態変換群』の線型表現 「姿態変換」から「再生産表式」へ」『一橋論叢』第 114 巻 6 号, 1995 年。
- 「構造と疎外」『一橋大学研究年報 経済学研究』40 号, 1998 年。
- 「『姿態変換群』の構造転形」『一橋論叢』第 120 巻 6 号, 1998 年。
- 「プロメテウスの宿業」『一橋大学研究年報 経済学研究』41 号, 1999 年。
- 「『臓器移植』の超経済学」『一橋論叢』第 122 巻 6 号, 1999 年。
- 「生産と消費の超経済学」『一橋論叢』第 123 巻 6 号, 2000 年。
- 「歴史の構造」『一橋大学研究年報 経済学研究』42 号, 2000 年。
- 「『正統対異端』の構造」『一橋論叢』第 124 巻 6 号, 2000 年。
- * 「大塚久雄『株式会社発生史論』」『書齋の窓』有斐閣, 2000 年 12 月号。
- 「『産業革命』の成立」『一橋論叢』第 125 巻 6 号, 2001 年。
- 「歴史学の構造と理念」『一橋大学研究年報 経済学研究』43 号, 2001 年。
- 「『風土』の構造」『一橋論叢』第 126 巻 6 号, 2001 年。
- 「構造分析の方法論」『一橋論叢』第 127 巻 6 号, 2002 年
- 「産業革命の構造」〔 〕『一橋大学研究年報 経済学研究』44 号, 2002 年。
- 「構造連関の概念」『一橋論叢』第 128 巻 6 号, 2002 年。
- 「冤罪とコミュニケーション構造」『一橋論叢』第 129 巻 6 号, 2003 年。
- 「産業革命の構造」〔 〕『一橋大学研究年報 経済学研究』45 号, 2003 年。
- 「価値の構造」『一橋論叢』第 130 巻 6 号, 2003 年。
- 「社会的な場とコミュニケーション構造」『一橋論叢』第 131 巻 6 号, 2004 年。
- 「歴史主義と論理主義 批判的考察」『一橋大学研究年報 経済学研究』46 号, 2004 年。
- 「『国家神道』における神話的現実」『一橋論叢』第 132 巻 6 号, 2004 年。

「経済システム論の基礎概念」『一橋論叢』第133巻4号,2005年。

「『無常』の構造」『一橋論叢』第133巻6号,2005年。

「経済システム分析の予備概念」『一橋大学研究年報 経済学研究』47号,2005年。

「デモクラシーからオクロクラシーへ」『一橋論叢』第134巻6号,2005年。

"The formal structure of metamorphosis of capital" , *Hitotsubshi Journal of Economics*, Vol. 47, No. 1, June 2006.

(c) 翻訳

ホブズボーム『産業と帝国』未来社,1984年。浜林正夫・和田一夫との共訳。

6. 学内行政

(a) 部所長・評議員等

評議員 (1995年4月-1997年3月)

7. 学外活動

(b) 参加学会および学術活動

日本科学史学会

経済学史学会